

ふるさとを軍事研究の場にさせない

講演と報告会

新安保法制の強行採決から2年。安倍政権の下、多額の国費を投じて軍事研究への誘導が行われています。滋賀の大学や研究機関はこれにどう立ち向かうのか。これまでの活動を報告するとともに、「学術と安全保障に関する検討委員会」委員長を務められた杉田さんを招いてその現状と課題を考えます

日時：10月17日（火）午後6時半～8時半

場所：滋賀弁護士会館 大会議室

〒520-0051 大津市梅林1丁目3番3号 JR大津駅より徒歩1分



講演

学問の自由をどう守るか

-日本学術会議声明の立場

講師：杉田 敦さん

1959年生まれ。法政大学教授。専攻は政治理論。「立憲デモクラシーの会」呼びかけ人。日本学術会議の「学術と安全保障に関する検討委員会」委員長として「軍事的安全保障に関する声明」を取りまとめる。主な著書として『権力論』（岩波現代文庫）、『境界線の政治学 増補版』（岩波現代文庫）、『政治的思考』（岩波新書）など多数。

主催：軍学共同反対滋賀連絡会

問い合わせ：077-564-3545（近藤）

*どなたでも参加できます。資料代として500円をお願いします

